

## 文化往来

の研究機関・非営利組織と連携し、データ、ノウハウを積み上げてきて展開している「言語グリッド」プロジェクトだ。言語研究機関や農業、医学などの専門家、大学などをクラウドで結びつけ、母国語だけで相互の意思疎通を実現する。

ネットワーク上のデータやソフトを通信回線を介して利用するクラウドコンピューティング。その手法を使い、数千

離れた日本から、異文化つなぐ「言語グリッド」試み本格化

ベトナム農家の日々のコメ作りを支援したり、滞日中の外国人の病院通いを補助するなど言語の壁を乗り越える試みが本格化している。京都大学、独立行政法人情報通信研究機構などが世界約140

の、機械翻訳のレベルはまだ低い。ネットの一つが用語。学校、既に特定非営利活動法人のパンゲア（京都市、森由美子理事長）は、病院などその世界でしか通用しない用語、用法が多く、普遍的な機械翻訳は難しい。換言すれば特定の領域に限ればかなりのレベルで翻訳が可能になる。「言語グリッド」は、特定分野で豊富な翻訳の人権への意識も高める。